

'94 土佐のまほろば祭り

今「時のかたり



親からそして孫へ  
子供たちの子供たちへ

- 【日時】 8月10日(土) 雨天順延  
午後3時~9時(予定)
- 【ところ】 比江 北部スポー  
ツレクリエーション施設
- 【アトラクション】  
○大塚小学校音楽隊 香長中  
学校吹奏楽部演奏
- お菓子が空から降ってくる  
○クイズラリー
- ぬいぐるみとジャンケン

- 外国人軍団大道芸(予定)
- 花火大会など
- またまた発表できないお美  
しみイベントあり。
- ※お問い合わせは南国市役所  
商工水産課「まほろば祭り事  
務局」〒783 南国市大塚甲  
2301 ☎(0211)まで

防災講演会

講師 宮澤清市先生



アジビでおなじみの  
知事キャスター  
現任、日本気象学会常議員  
NHK放送用語専門委員

- 【とき】 7月18日(月)  
午後1時~2時30分
- 【会場】 12時30分  
(開場) ホリデイホール
- 【講演テーマ】 現在の気象  
情報と防災対策

講演を開催いたします。  
私たちを取り巻くさまざまな  
災害について、宮澤先生の  
豊富な知識と経験によるお話  
です。  
たくさんの方のご一緒に、  
是非ご出席下さい。  
この度の講演会は、日本棋  
士協会の協力により行  
います。  
※お問い合わせは南国市総務  
課総務管理係(役所内線  
432)



6月7日に牧野川河口で行われた  
南国市同好会主催の清掃活動の様子

アイディアポスト

(愛称・未来くん)

一階市民ホールに登場  
六月九日、市役所一階市民ホ  
ールに、未来くんのアイディア  
ポストが登場しました。



このポストは、市民の皆さん  
自由に市政に対する提案をし  
ていただくものです。二十一世  
紀、さらに、未来に向けた住み  
よいまちづくりへの建設的な提  
案、アイディア、また、ユニー  
クな構想もお持ちしています。  
【企画課広報統計係】

海岸一斉清掃

七月十七日、午前六時より南  
国市の海岸で、一斉清掃を行  
います。

清掃に参加してくれた子供た  
ちには、うなぎのつかみどり大  
会が待っています。

【生活環境課】

健康

受けようね!

子宮がん検診

女性のがんといえはすく思  
出されるのが子宮がん。検診の  
普及により、子宮がんはとくに  
若年層に増えています。子宮が  
んには入口の部分にできる「頸  
がん」と、奥の部分にできる  
「体がん」とがあります。従来  
に子宮がんの大部分は「頸がん」  
でしたが、最近では体がんも  
増加の傾向にあり  
ます。その原因としては、食生  
活が欧米化したこと、初  
潮の若年化・閉経の遅れなど、

女性ホルモンの内分泌環境が変  
化してきたことが考えられてい  
ます。そこで子宮がん検診では  
「頸がん」だけではなく、「体  
がん」の検査まで必要な力には  
医師の指示により両方の検査を  
行っています。子宮がんの初期  
症状の手がかりは、不正出血や  
おりもの変化ですが、早期発  
見にはまた自覚症状のないうち  
に、検診を受けることが大切で  
す。30歳を過ぎたら毎年1回は  
子宮がん検診を受けましょう。

●子宮がんのできる部位



子宮がん検診のお知らせ

30歳以上の方を対象に市内の  
産婦人科で子宮がん検診を行  
います。受診を希望される方は保  
健福祉センター(☎377-3)  
までお電話下さい!

- 【とき】 8月16日(火)・18日(休)
- 【ところ】 前田産婦人科医院  
なんごく産婦人科
- 【受付時間】 午後1時30分~
- 【定員】 1日 先着40人(定員  
に達し次第締め切ります)
- 【検診料】 子宮頸がん 700円  
子宮体がん 500円
- ※なお、詳しくは広報「市民カ  
レンダー」もご覧ください。
- (地区の公民館などでも、子宮が  
ん・乳がん検診を行っています)

料理教室のお知らせ

一人暮らしで日々の  
献立に困っている方、  
いつもの献立に新しい  
メニューを加えたいと  
思っている方、簡単に  
ヘルシーな料理の教室  
を開催します。  
対象は65歳以上の一  
人暮らしの方、または  
65歳以上を含む夫婦の  
みの世帯の方。参加は  
一人でも夫婦でもOK。  
男の方も大歓迎です。  
ぜひご参加ください。



- 【とき】 7月16日(火)  
午前10時~午後1時30分
- 【ところ】 南国市保健福祉セン  
ター調理室
- 【献立】  
鯛のカレー粉焼き  
にらのおひたし  
高野豆腐のふくさ煮  
ブラマンジェ

ふるさと  
思い出

垣内秀見さん・岡豊出身  
(元光洋精工専務)

故郷を離れて40年。いやそれは結婚後の話、  
独身時代も入ると昭和19年以来50年だ。よく  
乳離れしない人があるように、私は故郷離れが  
できない。陸士一大学一社会人、いつも故郷の思  
い出を反芻しながら過ぎてきた。  
激動の50年、さまざまの組織の崩壊を体験した。  
旧陸軍の消滅は別として、銀行時代、安宅産  
業の崩壊では担当部長、先兵として駆け廻り、光  
洋精工に転じて再建のため10数年の専務勤め。  
1万人の社員を退職させることなく再建成功など  
いろいろあったが、いつも念じたことは「朝の来  
ない夜はない」ということ。会社の伊達の真因は  
売上不振でも債務超過でもない。トップがやるこ  
とを無くしたときである。一所懸命とは、一定の  
所に命を懸けること——先祖がわずかな土地  
に命を懸けたように——このようなことを何  
度自分と周りに言い聞かせたことか。大事な正念  
場で常に思い浮かべるのは故郷。エビ、カニのい  
っぱいいた川。アケビ、ケンボナシのありかを知  
りつくした山。切取詰まったとき、心の座標を昔  
のあの時に置き換えるだけでどれだけ心が安まり、  
勇気がわくことか。  
今、私と妻の共通の趣味は園芸畑仕事。畑に入  
って土をいじり、草をむしればいつでも故郷の昔  
の感触がよみがえる。死んだお爺もお母も一  
緒に戻る。東京には畑がなくなった。だから私は  
よく畑作のため土佐へ帰る。帰れば故郷へのセビ  
ア色の思い出は一変して天然色となる。啄木なら  
ずとも「古郷の山は有難きかな」である。  
(東京都世田谷区在住)